



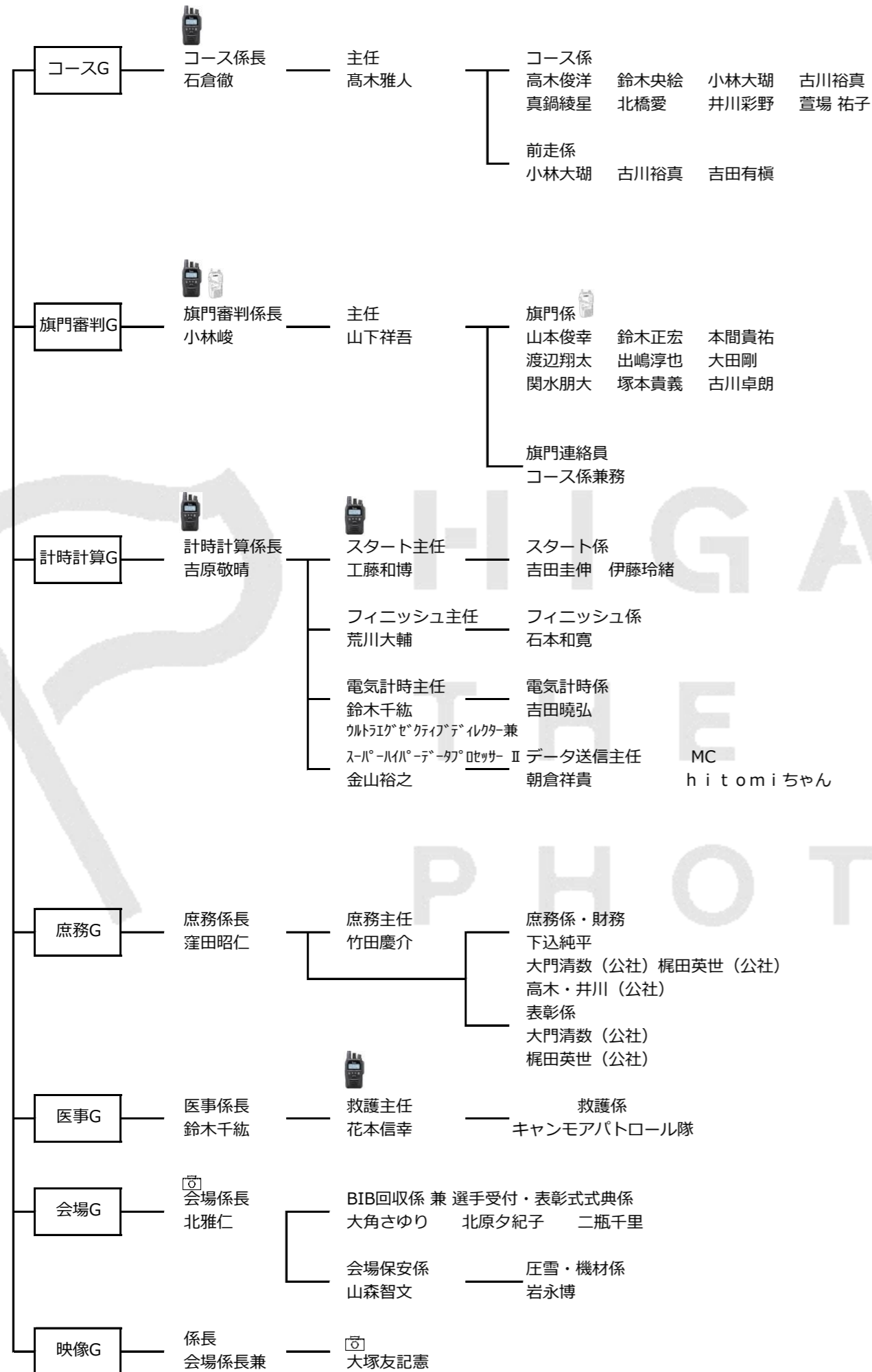
写真文化首都

TD
山家祥幸

主審
庄内孝治

競技委員長
杉山昌次

キャンモアG S L 18 競技役員



キャンモアG S L 18 大会細部要項

- 計時の方法
電気計時を使用する（アクシデントの場合は手動計時による）。
- スタートの方法及びスタート間隔
①スタート係よりコールをかけるので、指示に従いスタートバーを切ること。
②スタート間隔は、各組30秒を基本とする。
③ストックはスタート台の指定された位置に突き、2度突きはしないこと。
- コースインペクションの方法
①選手、コーチはスキーを着用し、上から下へ横滑りで行うこと。
②競技中は、下見、コースの横断は禁止する。
③選手は下見のとき、スタートビブを着用する必要はない。
- 競技上の注意
①スタートでは点呼をしますが、遅れないよう注意すること。遅れた場合は棄権扱いとする。
②旗門をミスして明らかに失格となった競技者は、続く旗門を通過してはならない。スイッチバックは認めない。
③途中棄権者は旗門審判員にはっきりと意思表示をし、コースの外に出ること。
※1 フィニッシュラインを通過しない
※2 スタートビブはゴール役員に渡す
④フィニッシュエリア内では、スキーを脱がないでスタートビブを外し、そのままフィニッシュエリア外に出ること。
⑤スタート順については棄権者がある場合、繰上げスタートするので、遅れないよう注意すること。
⑥競技者はスキーブレーキを着用し、ヘルメットを着用すること。
⑦競技中、転倒などで次の競技者の妨害となった場合は失格とする。
⑧スタート後120秒経過してもゴールしない場合は、途中棄権とする。
- 失格の公表、その他の通知
旗門不通過、その他による失格は、公式タイム掲示板により発表する。
- 公式掲示
各種目とも各組毎に仮発表を公式発表に切り替る。時間についてはその都度発表をする。
- 抗議
所要タイムの抗議は、仮発表掲示から5分以内とする。
- 再レース
走者妨害にあった場合はレースを中断し、近くの旗門員に申告し、直ちにゴールテントに来て再レースを申告すること。尚、妨害にあった後レースを続行した場合は再レースを認めない。
- 競技中のコース整備
コース整備は随時行い、最悪のときは競技を中断して整備することがある。
- トレーニングコース
トレーニングコースは用意をしていない。
一般ゲレンデを使用することになるが一般客もいるので、注意すること。
- 立入禁止
①スタートエリア内には監督、コーチの立入りを禁止する。
②スタート及びフィニッシュ地点の柵内には、特に役員の指示がない限り入らないこと。
- 競技時間の変更
天候等が最悪の場合は競技開始時間を遅らせることもある。この場合、場内放送でお知らせする。
- 総務関係
①RESULT RESULT は公式ホームページに掲載する。 www.canmoregsl.com
②駐車場 無料
- 注意事項
①スキー保護のためのビニール袋や、発生したゴミ等は極力お持ち帰りにご協力願います。
②スキー場内でのスキーの脱ぎ捨ては絶対しないこと。（台に立てるか、雪上に立てる）
③本人の責任による大会中の事故については、自己の責任において処理すること。